

パネル 2：仮想化と柔らかなサービス

システムやディスクの仮想化の事例や手法をもとに柔らかなサービスを実現する上での利点や問題点を議論します。

座長：坂下 秀（株式会社アクタスソフトウェア）

パネリスト：梶木善裕（日本電気株式会社）

柏木伸一郎（NTT コミュニケーションズ株式会社）

白崎博生（株式会社インターネットイニシアティブ）

山田晃嗣（シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社）

梶木善裕

日本電気株式会社中央研究所システムプラットフォーム研究所主任研究員。

1987年、九州大学修了、以降、NEC および通信・放送機構にて、デバイスから通信、情報システムまでの様々な研究に従事し、2000年、九州大学より超多眼立体表示技術の研究にて学位取得。2003年より現職にて、NAS スイッチ、スケラブルストレージ等のストレージ仮想化関係の研究を率いる傍ら、SNIA 日本支部幹事としてストレージ技術の普及促進に取り組む。電子情報通信学会会員、博士(工学)。

柏木伸一郎

NTT コミュニケーションズ株式会社グローバル事業本部新規事業開発部担当課長。

1996年東京工業大学大学院卒業後、NTT ソフトウェア研究所入社。1999年NTT ヨーロッパ(ロンドン)に出向、NTT グループの国際 IP バックボーンの欧州地区の構築を行う。2004年に帰国し情報家電向け P2P 通信基盤「m2m-x」の開発に携わった後、2007年より現職。米国子会社 Verio 社の VPS(仮想専用サーバ)技術を用いたホスティング事業のプロダクト開発及び技術戦略を担当。

白崎博生

株式会社インターネットイニシアティブシステム開発部システム開発課。

1996年(株)インターネットイニシアティブ入社。セキュリティ一筋の後、現在はシステム開発一筋。プログラムを書かなくなったプログラマ。開発作業の効率化に仮想化技術を利用する方法を考える毎日。

山田晃嗣

シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社システムエンジニアリング部システムエンジニア。

組込み用画像処理ソフトウェアの開発を7年経験した後、1999年に当時は「MetaFrame」と呼ばれていた Citrix Presentation Server と出会う。その驚くべき描画性能と、Application Service Provider などの運用形態で IT の未来を根本的に変えうる可能性に惹かれ、以来一環して Citrix Presentation Server の普及・啓蒙に努める。Citrix マニアが高じてしまって、2004年からはついに念願の Citrix の社員に。「中小企業の情報システムは、仮想化技術によって全てアウトソーシングされるべき」が持論。